

平成30年度第2回滝沢市国民健康保険運営協議会

日時 平成31年2月15日（金）

委嘱状交付式終了後から

場所 滝沢市役所 4階 中会議室

次 第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議録署名人の指名

4 議 事

（1）報告第1号

平成30年度滝沢市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について

（2）議題第1号

平成30年度滝沢市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について

（3）議題第2号

平成31年度滝沢市国民健康保険事業計画について

（4）議題第3号

平成31年度滝沢市国民健康保険特別会計当初予算について

（5）報告第2号

滝沢市国民健康保険の財政見通しについて

5 そ の 他

6 閉 会

報告第 1 号

平成 3 0 年度滝沢市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）について

本協議会での審議事項については、滝沢市国民健康保険条例施行規則第 7 条第 2 号に「国民健康保険特別会計予算に関する事項（人件費その他軽易なものを除く。）」とあることから、本案件は報告案件としております。

平成 3 0 年度滝沢市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）は、1 0 万 9 千円の増額補正です。

補正内容は、人事院勧告実施に係る人件費関連の補正です。

なお、本補正予算は、滝沢市議会 1 2 月会議で議決されております。

資料は、歳入に関しては 1 ページの【資料 1】、歳出に関しては 2 ページの【資料 2】のそれぞれ 1 2 月補正の欄です。

人件費の増額分について、その全額を一般会計から繰り入れているものであります。

議題第 1 号

平成 30 年度滝沢市国民健康保険特別会計補正予算（第 4 号）について

平成 30 年度滝沢市国民健康保険特別会計補正予算（第 4 号）は、1 億 8 千 2 5 5 万 8 千円の減額補正です。

本補正予算につきましては、滝沢市議会 3 月会議に上程いたします。

初めに、補正予算の概要です。

平成 30 年度も終盤を迎え、国民健康保険税や交付金などの歳入状況と医療費などの歳出状況の目途がたってきました。

歳入では、8 款の諸収入が 8 6 2 万 8 千円の増額とする一方、1 款の国民健康保険税が 1 9 4 万 9 千円、4 款の県支出金が 1 億 5 千 8 2 0 万 2 千円、6 款の繰入金 が 3 千 1 1 1 万 4 千円の減額としております。

歳出では、1 款の総務費が 4 8 8 万 2 千円、2 款の保険給付費が 1 億 6 千 4 9 4 万 3 千円、5 款の保健事業費が 1 千 2 7 8 万 8 千円の減額としております。

保険給付費の減額により医療費に係る歳入科目について減額しているところですが、保険給付費の減額の大きな要因は、平成 30 年度の診療報酬と薬価改定の影響が大きかったと分析しております。

なお、平成 30 年度の上半期の状況をみると、全国的に医療費が 3.2% 減となっております。

次に、まず歳出について、補正額の大きな款について個別に説明いたします。

2 ページの【資料 2】の 3 月補正欄をご覧ください。

1 款の総務費は、4 8 8 万 2 千円の減額です。これは入札残や支出見込額の確定による減額です。

2 款の保険給付費は、1 億 6 千 4 9 4 万 3 千円の減額です。

1 項 1 目の一般被保険者療養給付費が 1 億 2 千 7 0 0 万円、2 項 1 目の一般被保険者高額療養費が 3 千 5 0 0 万円、4 項 1 目の出産育児一時金が 6 6 0 万円 5 千円の減額ですが、1 項 2 目の退職被保険者等療養給付費が 4 1 1 万 1 千円の増額としております。

保険給付費の減額は、概要で説明したとおり今年度の診療報酬と薬価改定による影響が大きかったと分析しています。

また、退職被保険者の保険給付費については、退職者医療制度が平成 31 年度末での制度廃止が決まっており、被保険者の減少が続いているものの 1 件あたりの医療費の増加に伴い、増額としております。

5 款の保健事業費は、1 千 2 7 8 万 8 千円の減額です。

若年者健診など一部事業が完了していないものもありますが、特定健康診査事業など、事業完了による支出見込額の確定による減額です。

続いて、歳入について、補正額の大きな款について個別に説明いたします。

1 ページの【資料 1】の 3 月補正欄をご覧ください。

1 款の国民健康保険税は、1 9 4 万 9 千円の減額です。

1 目の一般被保険者分が 7 8 8 万 1 千円の増額、2 目の退職被保険者分が 9 8 3 万円の減額です。退職者分は結果的に過大見積もりとなりました。

4 款県支出金は、1 億 5 千 8 2 0 万 2 千円の減額です。歳出でも触れましたが歳出 2 款保険給付費が大幅に減額になることにより、保険給付費の財源となる 1 項 1 目の保険給付費等交付金も大幅に減額になります。

6 款の繰入金は、3 千 1 1 1 万 4 千円の減額です。歳入見込みによる繰入金の減額です。

8 款の諸収入は、8 6 2 万 8 千円の増額です。

1 項 1 目の一般被保険者延滞金は 7 2 5 万円の増額、3 項 1 目の一般被保険者第三者納付金は 5 9 万 2 千円、3 項 3 目の一般被保険者返納金は 7 8 万 6 千円の増額です。

以上で、「議題第 1 号 平成 3 0 年度滝沢市国民健康保険特別会計補正予算（第 4 号）について」説明を終わります。

議題第 2 号

平成 3 1 年度滝沢市国民健康保険事業計画について

国民健康保険事業計画は、法令等に策定規定があるものではなく、県の指導監査において策定するよう指導を受けているものです。

初めに、計画の目的を確認し、次に変更点について説明いたします。

4 ページ「2 滝沢市国民健康保険の現状について」(2) の保険給付費についてですが、療養給付費は後期高齢者医療制度の開始によりいったん減少し、その後増加していましたが、平成 2 8 年度の診療報酬の改定により平成 2 9 年度の増加割合は小さくなりました。

また、高額療養費についても同様に増加していましたが、平成 2 8 年度の薬価改定と高額医薬品の価格見直しにより、平成 2 9 年度は減額となりました。

しかし、平成 3 1 年度には消費税の増税実施が見込まれており、診療報酬も増額改定となる見込みであることから、今後の動向を適切に見極めて参ります。

5 ページ(4) の財政調整基金と国民健康保険税の税率改正についてですが、本計画策定段階では、平成 3 0 年度の決算が確定していないため、「国保広域化」の初年度が見えておりません。

県が各市町村に示す国保税額の必要額は、現行税率では若干不足するというシミュレーション結果が出ており、実際、新年度予算編成時には財政調整基金を取り崩している状態が続いていることから、国民健康保険税の引き下げを行える状況にはないと判断されます。

よって、財政調整基金は、国民健康保険税の引き下げのために使うのではなく、当面は国民健康保険税を引き上げないための歳入補てんに使うものとし、当面は「国保広域化」による影響を見極めてまいります。

6 ページの基本方針ですが、(1) 被保険者の健康の保持・増進と医療費の適正化をあげています。具体的には、特定健診の受診率と特定保健指導の実施率の向上と若年者健康診査の受診率向上、糖尿病重症化予防に積極的に取り組みます。

7 ページの表ですが、検診受診率の目標値を平成 3 1 年度の目標値に変更しています。

8 ページの下の表ですが、収納率については平成 3 1 年度の目標値に変更しております。

9 ページの(3) 医療費の適正化の表ですが、平成 3 1 年度からはレセプト点検は業者委託から国民健康保険団体連合会委託に変わります。

以上で、「議題第 2 号 平成 3 1 年度滝沢市国民健康保険事業計画について」の説明を終わります。

議題第3号

平成31年度滝沢市国民健康保険特別会計当初予算について

平成31年度滝沢市国民健康保険特別会計当初予算は、総額48億1千771万8千円であります。

本当初予算については、滝沢市議会3月会議に上程いたします。

初めに、当初予算の概要です。

資料は、11ページの【資料4】と12ページの【資料5】です。

平成31年度滝沢市国民健康保険特別会計当初予算は、総額48億1千771万8千円で、30年度当初予算比では5千142万7千円の減で、率にして1.06%のマイナスとなります。

これは、保険給付費の減少により予算規模が縮小したものです。

平成30年度予算編成時は国保広域化に伴い科目の変更が多かったものの、平成31年度は一部の節以外は大きな変更はありません。

続いて、歳入について、11ページの【資料4】により説明いたします。

1款の国民健康保険税は、8億9千508万9千円で、対前年比で2千732万7千円の減、2.96%のマイナスです。

1目の一般被保険者分が1千609万2千円の減で1.77%のマイナス、2目の退職被保険者分が1千123万5千円の減で、73%のマイナスです。

国保被保険者の減少に伴い、国民健康保険税の歳入も減額になります。また、退職者医療制度が平成31年度末で廃止することから退職被保険者の減少が続いており、退職分は大幅な減となります。

2款の使用料及び手数料は、65万1千円で、対前年比では5万円の減、7.13%のマイナスです。2目の督促手数料を減額としました。

4款の県支出金は、34億3千521万6千円で、対前年比で9千479万6千円の減、2.69%のマイナスです。

1項1目1節の普通交付金は、滝沢市国保が支払った保険給付費の対象経費全額を県が交付するものです。対象経費は、保険給付費のうち、1項の療養諸費（審査支払手数料は除く）と2項の高額療養費、3項の移送費です。

なお、予算計上金額は、県の示達額のとおりです。

6款の繰入金は、4億7千455万1千円で、対前年比で6千875万円の増、16.94%のプラスです。

1項の他会計繰入金は、3億8千109万9千円で、対前年比で2千151万1千円の増、5.98%のプラスです。

2項の基金繰入金は、9千345万2千円で、対前年比で4千723万9千円の増、102.22%のプラスです。

8款の諸収入は、1千220万8千円で、対前年比で199万7千円の増、19.

56%のプラスです。

1項1目の延滞金が200万円の増で19.61%のプラスです。

続いて、歳出について、12ページの【資料5】により説明いたします。

1 款の総務費は、1億2千910万8千円で、対前年比では3千595万3千円の増、38.59%のプラスです。平成32年度から導入する国保市町村事務処理標準システム関連経費等の増です。

2 款の保険給付費は、33億5千627万8千円で、対前年比で7千851万8千円の減、2.29%のマイナスです。

1項療養諸費は対前年比で6千601万8千円の減で2.20%のマイナス、2項高額療養費は対前年比で1千250万円の減で3.02%のマイナスです。

歳入で説明したとおり、保険給付費のうち1項の療養諸費（審査支払手数料を除く）、2項の高額療養費、3項の移送費に関しては、実際に支払った全額が県から普通交付金として交付されます。

3 款の国民健康保険事業費納付金は、12億5千16万円で、対前年比で1千364万1千円の減、1.08%のマイナスです。

国の負担金・補助金や社会保険診療報酬支払基金の交付金と負担金等を調整したうえで、医療給付費分と後期高齢者支援金分、介護納付金分に相当する金額を県に納付するもので、県の示達額のと通りの計上です。

4 款の共同事業拠出金は、2千円で、対前年比で増減なしです。

5 款の保健事業費は、7千764万8千円で、対前年比で478万1千円の増、6.56%のプラスです。非常勤保健師の増員に伴う人件費の増です。

8 款の諸支出金は、445万3千円で、対前年比では2千円の減、0.04%のマイナスです。

30年度に設置した療養給付費等負担金償還金から特定健康診査等負担金償還金までの目が廃止され、5目に保険給付費等交付金償還金を新たに設置しました。

以上で、「議題第3号 平成31年度滝沢市国民健康保険特別会計当初予算について」説明を終わります。